

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム ももたろう
日付	平成18年2月13日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：介護経験歴6年 大学教員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>経営者は、入居者と家族に安らぎを感じて頂ける介護を提供することに生きがいを感じ、積極的に介護の質を向上させるように取り組んでいます。最初は現場に直接係らないと気がすまなかったそうですが、最近では信頼できる管理者に任せることで安心できる組織となり、ホームの運営も軌道に乗ってきました。</p> <p>静かな住宅地に位置し、ホームの周りには田んぼがあり、穏やかでゆったりした生活空間を提供するというホームの理念とマッチしています。</p> <p>そして、入居者は自分のやりたいことを、職員側の都合で強制されることなくできます。生活リハビリを重点的に、職員は入居者個々に何が出来るかを考え、出きる事から率先してやってもらっています。入居者もゆっくり、みんなと話を弾ませながら体を動かすことで、頑張っている日々を過ごしています。</p>
<p>改善の余地があると思われる点 (記述式)</p> <p>入居者と接する時間を多くとるため記録を簡素化されているとのことですが、日々の生活記録をもう少し丁寧に付けた方が介護の改善のためにも良いと思います。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 記述 回答	<p>グループホームとしてめざしているものは何か (記述式で回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心豊かな、ゆったりとした時の流れる空間を提供し、入居者とそのご家族から感謝され、職員が自分の仕事に誇りを持つような介護を行うこと。 一人ひとりが歩んでこられた人生や個性を大切にしながらも、職員と入居者が一つの家族のようになるように努めること。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 記述 回答	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か (記述式で回答)</p> <p>職員の声かけは暖かく、せかせかしない、バタバタしないことで落ち着いた生活空間を提供する努力がなされています。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 記述 回答	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か (記述式で回答)</p> <p>居室の窓はすりガラスで、外から直接覗くことができず、プライバシーが保護されています。自分でできる日常生活動作は、できる限り自分でしてもらおうことで、残存能力の維持に努めています。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 記述 回答	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>外部の研修に職員を積極的に派遣し、学んだことをホーム内で共有するため勉強会を開いています。外部から実習生を受け入れることで、職員に緊張感をもたせるとともにスキルアップの契機としています。職員の採用は経営者の理念を理解し、せかせかせずゆったりとした介護ができる職員を採用しています。</p>		